

## ■取組項目

- ②的確な水防活動のための取組
- ②-2 市町村庁舎等の自衛水防の推進に関する事項

- ④ その他 技術研修会の実施や連絡会議等による情報共有

## ■②-2に係る取組状況

- 令和5年度第2回留萌管内防災行政ネットワーク連絡会議を開催し、市町村業務継続計画(BCP)の策定に係る情報提供を実施。

### <開催日時等>

- 日時:令和5年12月8日 13:30~14:30
- 参加者

- ・陸上自衛隊第26普通科連隊
- ・管内市町村
- ・管内消防組合・本部
- ・留萌開発建設部
- ・旭川地方気象台
- ・留萌海上保安部
- ・道警旭川方面本部
- ・留萌教育局
- ・留萌振興局



### ○ 議題

- ・雪による被害状況について
- ・業務継続計画(BCP)の策定状況について
- ・その他関係機関からの情報提供 等

## ■④に係る取組状況

- 防災関係機関等と情報共有を図るため、令和5年度第1回留萌管内防災行政ネットワーク連絡会議を開催した。

### <開催日時等>

- 日時:令和5年7月14日 13:30~15:00
- 参加者

- ・陸上自衛隊第26普通科連隊
- ・管内市町村
- ・管内消防組合・本部
- ・留萌開発建設部
- ・旭川地方気象台
- ・留萌海上保安部
- ・道警旭川方面本部
- ・留萌教育局
- ・留萌振興局



### ○ 議題

- ・令和5年度の防災に関する主な取り組みについて
- ・北海道防災情報システムを活用した被害情報の収集について 等

## <留萌管内防災ネットワーク>

- 行政機関が連携して留萌地域の地域防災力の拡充・強化を図るため、平成28年5月に留萌管内防災行政ネットワークを設立。年に数回、会議を開催している。

## ■取組項目

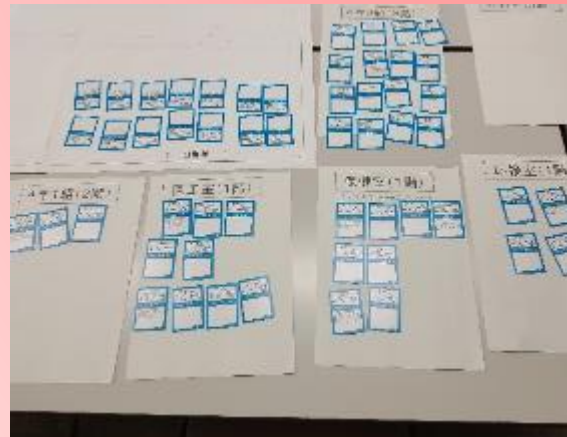
## ①-2 避難訓練の実施や防災教育の促進

## ■①-2に係る取組状況

- 風水害等も含めた防災に対する意識の向上及び平時・災害時における地域の防災リーダーの育成のため、令和5年11月18日に一般住民を対象にした「北海道地域防災マスター研修会」を開催した。

## &lt;開催日時等&gt;

- 日時  
令和5年11月18日 10時30分～15時00分
- 研修会参加対象者(当日参加者 9名)
  - 1 防災活動経験者(防災関係機関の退職者等)
  - 2 地域防災活動者(町内会等で防災活動を行っている者等)
  - 3 その他地域防災のリーダーとして、意欲的に活動できる者
- 実施方法  
対面形式で実施
- 研修内容
  - 1 防災リーダー講座  
講師 留萌振興局地域創生部危機対策室主査
  - 2 気象・地震に関する防災情報の活用方法
    - (1)災害から身を守るために役立つ気象情報
    - (2)北海道の地震と津波  
講師 旭川地方気象台防災管理官  
旭川地方気象台観測予報管理官
  - 3 避難所運営ゲーム(Doはぐ)の実施  
講師 留萌振興局地域創生部危機対策室主査



## &lt;北海道地域防災マスター&gt;

地域における防災活動や災害時に中心となる人物であり、平成19年度(2007年)から育成を開始。  
なお、全道における認定者数は4,381人(令和5年(2023年)11月20日時点)。

### ②－1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

■留萌開発建設部では、水防技術講習会を開催して水防技術の向上を図りました。

参加機関：留萌建設管理部、留萌市役所、留萌消防組合留萌消防署、留萌建設協会、留萌開発建設部

開催状況



「排水ポンプパッケージ」の説明



三角土のうを使用した「水マット工法」



「大型土のう工法」の実技



## ③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

■ 留萌開発建設部では、留萌市内にある東雲排水機場について説明して情報を共有しました。

参加機関：留萌市役所、留萌振興局、旭川方面留萌警察署、留萌消防組合留萌消防署、留萌開発建設部



施設屋外での説明状況



施設内での説明状況

■ 排水機場の情報共有にあわせて、留萌川の重要水防箇所を関係機関と合同で確認しました。



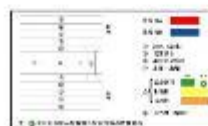
現地での説明状況

留萌川右岸KP3.1付近の重要水防箇所（評定の概要）

種別	重要度	距離標	備考
-	重点	2.1 ~ 4.1	人口の集中する留萌市街地であり、重点的な監視が必要
越水(漏水)	B	2.9 ~ 4.1	洪水を流すための川の容量積が不足

- ◆ 重要水防箇所「越水(漏水)」に評定されており、越水の危険性があります。
- ◆ 留萌川の水位が上昇し堤防を超えることが予想される場合には、**掘土の土工による越水対策**が必要です。

R5留萌川重要水防箇所図



## ◆ 気象情報の改善 ◆ 自治体職員を対象とした水防災に関する取組

### ■ 上川・留萌管内防災連携TV

令和5年8月～

旭川地方気象台では、令和3年12月から市町村等を対象にZoomによる気象解説を実施している。令和5年8月からは『上川・留萌管内防災連携TV』として、週一回の定期開催と、警報級の可能性が高まった時などの臨時開催とし再スタートした。上川・留萌各（総合）振興局及び旭川・留萌各開発建設部との5者連携・協力とし、平時から上川・留萌管内市町村へ気象等解説や情報共有を行なう場となっている。「顔の見える関係」の構築・深化を図るとともに、緊急時における地域の防災対応に資することを目的としている。

8月2日に実施した臨時開催の様子（イメージ）



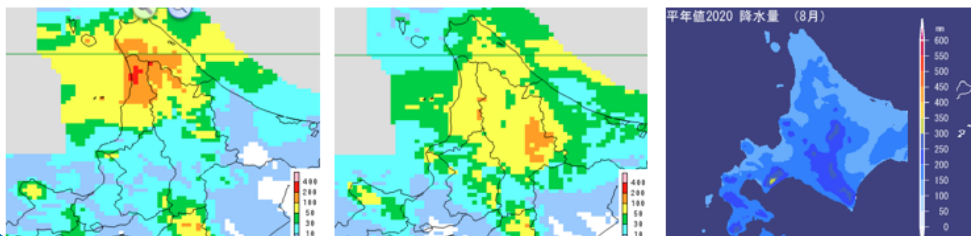
### 3日～5日頃の大雨について

資料は  
部内限り

観測所	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
旭川	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
留萌	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0

3～5日の大雨の早期注意情報（警報級の可能性）は [中] としていますが、2日17時の発表予報で、3日夕方から [高] とする検討をしています。

雨の予想 多い所で、1時間降水量 40ミリ  
3日6時～4日6時までの24時間降水量 多い所で 100～150ミリ  
4日6時～5日6時までの24時間降水量 多い所で 50～100ミリ



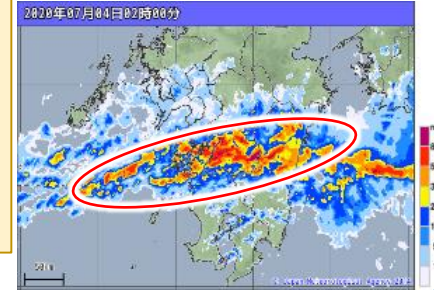
### ■ 「顕著な大雨に関する気象情報」の改善

令和5年5月～

これまで、線状降水帯の発生をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を発表していた。新たに雨量予測も用いて少しでも早く伝える。これまでより最大30分早く発表できるよう改善。

【情報の発表例】  
顕著な大雨に関する〇〇県気象情報第1号  
令和5年〇月〇日〇時〇分〇〇気象台発表（見出し）  
〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。（本文）なし

（雨雲レーダー）線状降水帯の例



### ■ 市町村との大雨事例振り返り

令和5年10月

令和5年8月3日から6日にかけて、停滞前線の影響により上川・留萌地方の広い範囲で大雨となり、特に、5日から6日にかけて、上川・留萌地方ではまとまった雨が降り、降り始めからの総降水量が8月の平年の一か月の降水量を超えた地点もあった。このことから、気象台の発表する防災気象情報の今後の改善等を目的に、当時の気象状況や自治体における防災対応等の振り返りを複数市町村と行なった。



# 増毛町での取組事例

資料③

## ■取組項目

①円滑かつ迅速な避難のための取組

①-2 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する事項

## ■取組状況

日時: 令和5年9月1日

参加者: 増毛町役場(総務課担当)、自主防災組織、全町民

内容: 防災展示(全町防災訓練時)の実施



# 増毛町での取組事例

資料③

## ■取組項目

①円滑かつ迅速な避難のための取組

①-2平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

## ■取組状況

日時:令和5年9月1日

参加者:増毛町役場、全住民、留萌ほくでんネットワーク

内容:全町防災訓練



# 小平町での取組事例

資料③

## ■取組項目

①円滑かつ迅速な避難のための取組

①-2平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

## ■取組状況

日時:令和5年10月29日

参加者:町職員ほか鬼鹿地区住民、振興局危機対策室、留萌警察署、その他協力業者

内容:北海道西方沖地震(M7.5)により鬼鹿地区において震度4及び津波警報発令の想定で、避難所の設営訓練を実施





# 北海道警察での取組事例

資料③

## ■取組項目

- ① 円滑かつ迅速な避難のための取組
- ①-2 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

## ■取組状況

- ①日時: 令和5年9月2日
- 内容: 古丹別連合町内会総合防災訓練において、羽幌警察署員が地域住民に対する防災広報等を実施

## ■古丹別連合町内会総合防災訓練における初動対応訓練、防災広報

### 内容

- 避難訓練時における避難誘導・避難広報
- 防災講話『自助、共助、公助について』



## ■取組項目

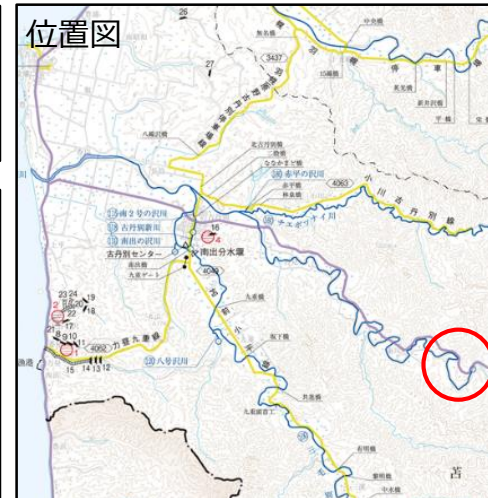
① 円滑かつ迅速な避難のための取組

①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

## ■取組状況

・古丹別川（苫前町）では、H28.8豪雨に伴う洪水被害を契機に、洪水氾濫を防止する対策として、H31より共鳴橋～15km区間の河川改修事業に着手。

・R2年度から第2遊水地に工事着手し、R5年度は遊水地内の54,600m<sup>3</sup>を掘削した。



着工前（R5.6撮影）



現在（R5.9撮影）



## ■取組状況

- ・北海道では平成28年の記録的な大雨を契機に、河道内樹木の伐採や堆積土砂の除去について、「河道内樹木伐採などの河川維持のあり方」を作成し、計画的に樹木伐採等を進めている。
- ・令和5年度は古丹別川等22河川で樹木伐採等を行っている。

## ■取組項目

- ① 円滑かつ迅速な避難のための取組
  - ①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

